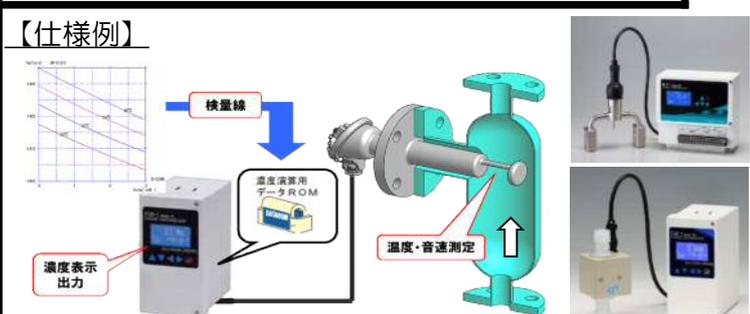


企業名 富士工業 株式会社		所在地 静岡県浜松市南区飯田町1068
連絡先	URL : http://www.fuji-us.co.jp	
部署名 営業部 営業グループ	Tel No. : 053-464-6443	
担当名	E-mail :	
資本金・従業員数	4000万円 ・ 32名	海外対応 <input type="checkbox"/> 可 () <input checked="" type="checkbox"/> 否 ※生産拠点国を記入※
主要取引先	半導体・液晶・化学・金属・食品・製紙・印刷など液体を扱う企業全般	ISO等認証取得状況 —
自社のセールスポイント・強み	設計から製造・販売まで一貫で行うことにより、お客様の要望に迅速に対応が可能	
提案区分	<input checked="" type="checkbox"/> 部品 <input type="checkbox"/> 素材/材料 <input checked="" type="checkbox"/> 設備/装置 <input type="checkbox"/> 金型/治工具 <input type="checkbox"/> その他()	
提案名 超音波濃度計・超音波粘度計・減衰濃度計		工法 新規性

<< 提案内容 >>

提案の狙い <input checked="" type="checkbox"/> 原価低減 <input checked="" type="checkbox"/> 品質/性能向上 <input type="checkbox"/> 質量低減 <input type="checkbox"/> 安全/環境対策 <input checked="" type="checkbox"/> 生産(作業)性向上 <input type="checkbox"/> その他()	適用可能な製品/分野 <ul style="list-style-type: none"> 化学製品、機能性材料生産における液体の管理 電子部品製造の上流工程におけるプロセスコントロール その他各種液体の濃度、粘度測定
従来 従来計測機器では、 <ul style="list-style-type: none"> 導電率計 ⇒ 導電性の無い液体は測定困難 屈折率計 ⇒ 光を通し難い液体は測定困難 振動式密度計 ⇒ 管の詰まりがあるとメンテが大変 回転式粘度計 ⇒ 駆動部がありインラインには不向き ・・・など、各種方式一長一短あり 	新技術・新工法 超音波濃度・粘度測定 <ul style="list-style-type: none"> ○超音波なら測定できる液体が多い ○音速利用、減衰利用、粘度測定と、液の性状に対し複数の測定手段を提案 ○駆動部は無くメンテナンスが容易
<ul style="list-style-type: none"> ・プロセスの効率向上 ・品質の維持 ・自動化による生産性改善 に対し、『計測機器の最適化』は重要な課題	<ul style="list-style-type: none"> ・プロセスコントロールの見える化、最適化 ・インライン化、自動化による生産性向上 を提案します
【仕様例】 	【測定対象例】 酸類：HCl、H ₂ SO ₄ 、HNO ₃ 、HF アルカリ類：NaOH、KOH、TMAH 有機類：MEA、NMP、DMSO 樹脂類：エポキシ、ポリマー、溶剤中の樹脂 スラリー類：石灰スラリー、石灰乳 ・・・その他各種測定例有り サンプルテストは随時対応
セールスポイント(製造可能な精度/材質等)	
<ul style="list-style-type: none"> 各種材質で製作可能なため、十分な耐食性を確保 出力が充実しており制御系の構築が簡単 多成分濃度計のラインナップから複数成分測定も可能 	<ul style="list-style-type: none"> 納入後の検量線補正も簡単であり精度の向上が可能 35年にわたる実績からノウハウを生かしフォロー実施